

2007年3月期 第3四半期決算短信添付資料（決算説明会資料）



当資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見直しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動



第3四半期決算及び業績予想のポイント

中期経営計画「JT2008」の実現に向けた施策を着実に実行

■ 2007年3月期 第3四半期決算

- ◆ 引き続き増益基調を維持

■ 2007年3月期 業績予想

- ◆ 対中間時見込
EBITDA、営業利益は、国内たばこ事業のコスト減、海外たばこ事業の利益成長により、上方修正
経常利益、当期純利益は、買収に備えた資金調達に関連する費用を織り込み、下方修正
- ◆ 対前年実績
修正予想は各利益指標で過去最高益、EBITDAは前年比+約180億円の成長を見込む

2007年3月期 第3四半期実績

■ 業績ハイライト

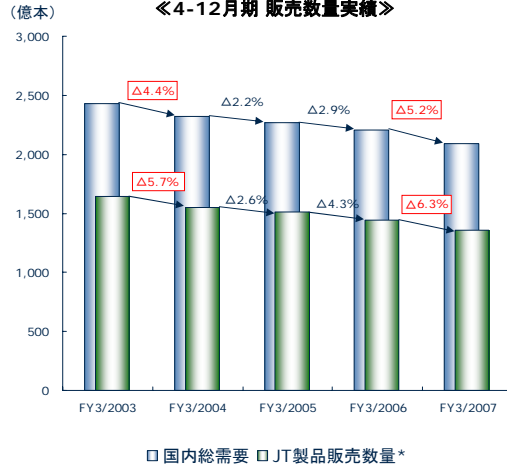
- ◆ 引き続き、増益基調を維持

(単位:億円)

	2006年3月期 第3四半期	2007年3月期 第3四半期	増減
税込売上高	35,503	36,374	871
税抜売上高	15,315	15,631	315
EBITDA	3,457	3,711	253
営業利益	2,518	2,734	216
経常利益	2,435	2,760	324
四半期純利益	1,640	1,934	294

2007年3月期 第3四半期実績（国内たばこ事業）

《4-12月期 販売数量実績》



□ 国内総需要 □ JT製品販売数量*
*新ベース=JTオリジナルブランド + JTIの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セラム等)

2006年10月

- ◆ キャビン・ワン・テイスティ・100s・ボックス等5銘柄を新発売（地域限定テスト販売）

2006年12月

- ◆ マイルドセブンのソフトパック製品等9銘柄のデザインを変更
- ◆ マイルドセブン・スーパーライト・100s・ボックスを新発売（地域限定テスト販売）
- ◆ キャビン・ワン・テイスティ・100s・ボックスを全国発売



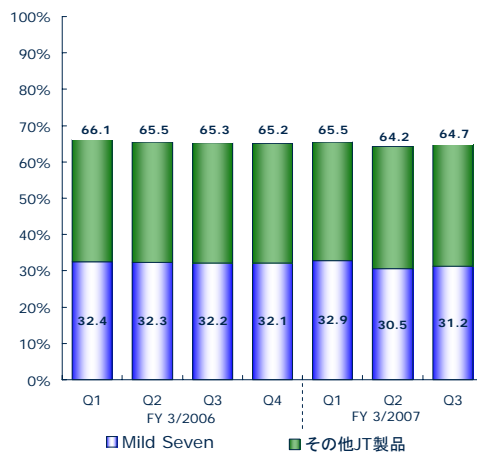
5



2007年3月期 第3四半期実績（国内たばこ事業）

※ 販売数量減をコスト減、販売単価増等により克服し、増益を確保

《JT製品の市場シェア*》



*新ベース=JTオリジナルブランド + JTIの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セラム等)

(単位: 億円)

	2006年3月期 第3四半期	2007年3月期 第3四半期	増減
税抜売上高	9,067	8,844	△ 222
EBITDA	2,414	2,565	150
営業利益	1,767	1,967	200

(単位: 億本)

	2006年3月期 第3四半期	2007年3月期 第3四半期	増減
JT製品販売数量	1,472	1,355	△ 116

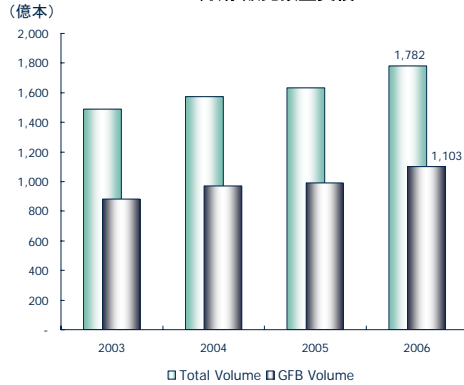
6



2007年3月期 第3四半期実績（海外たばこ事業）

■ ス페인市場での価格競争の影響を受けるも、前年を上回る実績

《1-9月期 販売数量実績》



	2006年3月期 第3四半期	2007年3月期 第3四半期	増減
税抜売上高	3,558	4,085	526
EBITDA	761	937	175
営業利益	596	709	112
円ドルレート(円)	107.90	115.90	8.00

	2006年3月期 第3四半期	2007年3月期 第3四半期	増減
(参考) JTへのロイヤリティ支払い前 EBITDA※	756	902	146

※比較可能ベース: 日本市場移管影響を除く

(注) 海外たばこ事業は2006年1-9月期の実績

7



2007年3月期 第3四半期実績（医薬事業）

■ 開発品の着実なステージアップとR&Dパイプラインの充実を推進

臨床開発品目(2007年2月8日現在)

開発名	適応症	開発段階
JTT-705(経口)	脂質代謝異常	国内:Phase1
JTT-130(経口)	高脂血症	国内:Phase2 海外:Phase2
JTK-303(経口)	HIV	国内:Phase1
JTT-302(経口)	脂質代謝異常	海外:Phase1
JTT-305(経口)	骨粗鬆症	国内:Phase2 海外:Phase1
JTT-551(経口)	2型糖尿病	国内:Phase1 海外:Phase1
JTT-552(経口)	高尿酸血症	国内:Phase1

第1四半期に進展

第2四半期に進展

第3四半期に進展

	2006年3月期 第3四半期	2007年3月期 第3四半期	増減
売上高	388	360	△ 28
EBITDA	△ 2	△ 51	△ 49
営業利益	△ 26	△ 73	△ 47

8



2007年3月期 第3四半期実績（食品事業）

※ 計画に沿って順調に進展

（単位：億円）

	2006年3月期 第3四半期	2007年3月期 第3四半期	増減
売上高	2,127	2,185	57
EBITDA	96	107	10
営業利益	54	66	11



ルーツ「アロマブラック」



「お弁当大人気！」シリーズ
「ミニ春巻き」



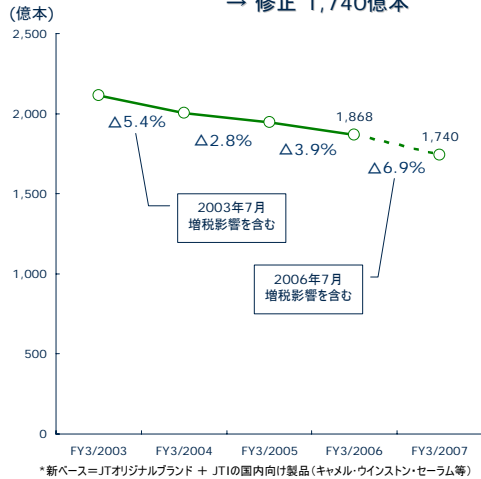
「いまどき和膳」シリーズ
「れんこんはさみ揚げ」

2007年3月期 業績予想

2007年3月期 業績予想 (国内たばこ事業)

■ JT製品販売見込み

- ◆ 中間時 1,760億本
→ 修正 1,740億本



■ ブランド・エクイティの向上

- ◆ マイルドセブン・ブランドの強化
-2006年12月より「The Blue Collection」キャンペーンを開始



- 2007年2月よりマイルドセブン・スーパーライト・100's・ボックスを全国拡販



11



2007年3月期 業績予想 (国内たばこ事業)

- ◆ 対中間時見込
総需要の減少により、税込売上高を下方修正
EBITDA・営業利益は、販売数量の減少を、コスト減等により克服し、上方修正
- ◆ 対前年実績
価格改定効果、葉たばこ評価洗替差損益の改善等により、利益は前年度を上回る見通し

(単位:億円)

	2006年3月期 実績 A	2007年3月期 中間時見込 B	2007年3月期 今回見込 C	中間時見込比 差異 C-B	前年比増減 C-A
税込売上高	34,052	34,300	33,970	△ 330	△ 82
EBITDA	3,057	3,130	3,160	30	102
営業利益	2,200	2,290	2,340	50	139

【主な前提条件】

(単位:億本)

JT製品販売数量	1,894	1,760	1,740	△ 20	△ 154
----------	-------	-------	-------	------	-------

12



2007年3月期 業績予想（海外たばこ事業）

- ◆ 対中間時見込
中間時見込どおり、「10%台半ばのEBITDA成長」を達成する見通し
- ◆ 対前年実績
6年連続となるEBITDA二桁成長を持續できる見通し

(単位: 億円)

	2005年 実績 A	2006年 中間時見込 B	2006年 今回見込 C	前年比増減 C-A	% (C-A)/A
税込売上高	8,811	9,900	9,990	1,178	13.4
EBITDA	940	1,090	1,120	179	19.0
営業利益	710	780	810	99	14.0

(参考) JTへのロイヤリティ支払い前

(単位: 百万USドル)

	2005年 実績 A	2006年 中間時見込 B	2006年 今回見込 C	前年比増減 C-A	% (C-A)/A
EBITDA※	925	1,070	1,090	165	17.8

※比較可能ベース: 日本市場移行影響を除く

	2005年 実績 A	2006年 中間時見込 B	2006年 実績(速報値) C	前年比増減 C-A	% (C-A)/A
総販売数量(億本)	2,203	2,390	2,401	198	9.0
CFB販売数量(億本)	1,338	1,470	1,491	153	11.4
円ドルレート(円)	110.26	116.00	116.38	6.12	

(注) 海外たばこ事業は2006年1-12月期の見込

13



2007年3月期 業績予想（医薬事業、食品事業）

■ 医薬事業

- ◆ 対中間時見込: 導出に伴う一時的収入等を織り込み、売上・利益ともに微増
- ◆ 対前年実績: 研究開発費の増、鳥居薬品(株)の減益予想等により、減益の見通し

(単位: 億円)

	2006年3月期 実績 A	2007年3月期 中間時見込 B	2007年3月期 今回見込 C	中間時見込比 差異 C-B	前年比増減 C-A
売上高	492	445	450	5	△ 42
EBITDA	△ 18	△ 95	△ 90	5	△ 71
営業利益	△ 50	△ 125	△ 120	5	△ 69

■ 食品事業

- ◆ 対中間時見込: ほぼ中間期見込みどおり進捗
- ◆ 対前年実績: 事業量の拡大により増収、利益は前年並の見通し

(単位: 億円)

	2006年3月期 実績 A	2007年3月期 中間時見込 B	2007年3月期 今回見込 C	中間時見込比 差異 C-B	前年比増減 C-A
売上高	2,783	2,860	2,860	0	76
EBITDA	118	120	120	0	1
営業利益	63	70	65	△ 5	1

14



2007年3月期 業績予想

■ 対中間時見込

EBITDA・営業利益は、国内たばこ事業のコスト減、海外たばこ事業の伸張により上方修正
 経常利益・当期純利益は、買収に備えた資金調達に関連する費用を織り込み、下方修正

■ 対前年実績

EBITDA・営業利益・経常利益・当期純利益はいずれも過去最高益を更新する見込み

(単位:億円)

	2006年3月期 実績 A	2007年3月期 中間時見込 B	2007年3月期 今回見込 C	中間時見込比 差異 C-B	前年比増減 C-A
税込売上高	46,376	47,700	47,400	△ 300	1,023
EBITDA	4,333	4,440	4,520	80	186
営業利益	3,069	3,080	3,180	100	110
経常利益	2,978	3,100	2,980	△ 120	1
当期純利益	2,015	2,060	2,020	△ 40	4
ROE(%)	12.4	11.2	10.9	△ 0.3pt	△ 1.5pt
FCF	1,455	3,540	3,640	100	2,184

(このスライドは空白です)

【参考資料】

2007年3月期第3四半期実績および 2007年3月期業績予想における増減要因の分析



当資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

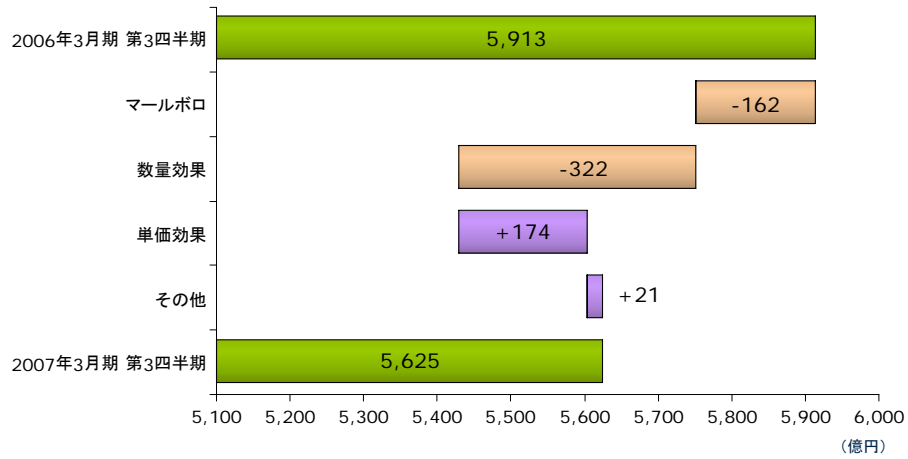
本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見直しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動



2007年3月期 第3四半期実績

国内たばこ事業 税抜売上高（輸入たばこを除く）

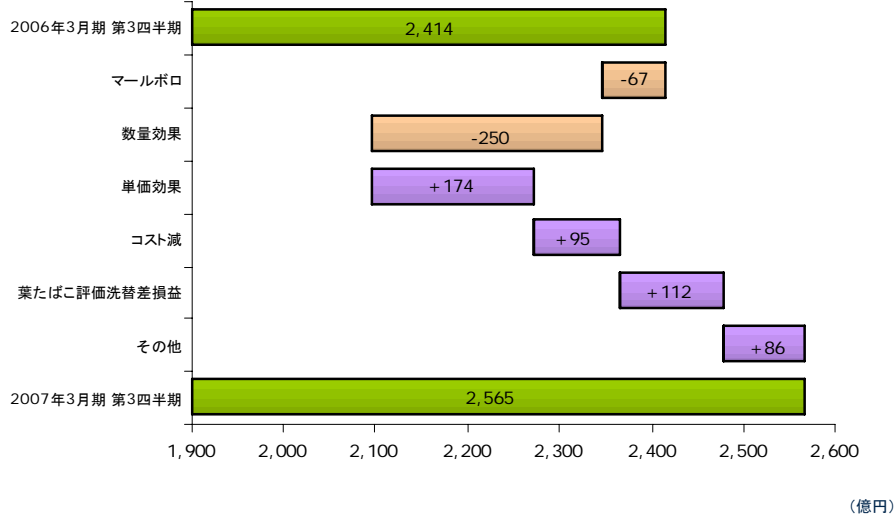


19



2007年3月期 第3四半期実績

国内たばこ事業 EBITDA



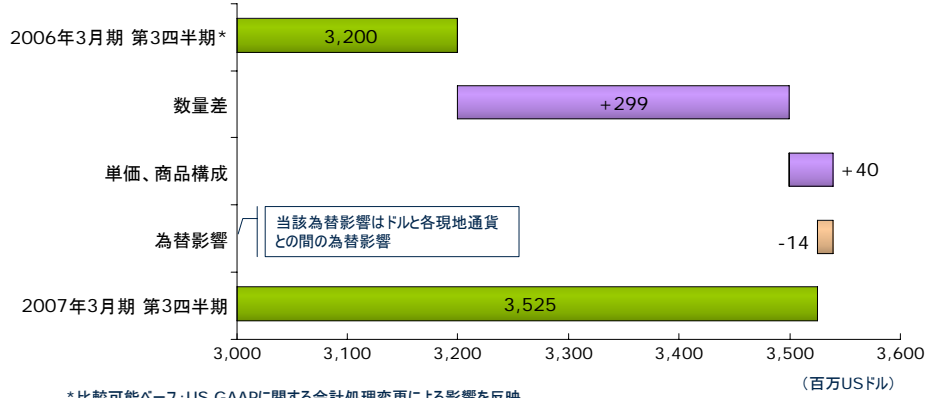
(億円)

20



2007年3月期 第3四半期実績

■ 海外たばこ事業 税抜売上高



(参考)セグメント情報ベース

海外たばこ事業税抜売上高 3,558億円 → 4,085億円 (526億円増)

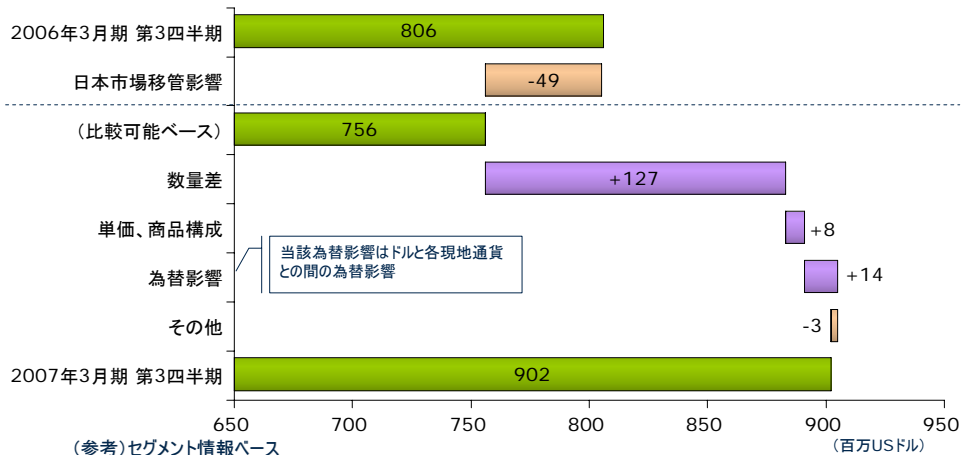
21



2007年3月期 第3四半期実績

■ 海外たばこ事業 EBITDA (JTへのロイヤリティー支払前)

比較可能ベース: 756 百万ドル ⇒ 902 百万ドル (対前年+19.3%増)



(参考)セグメント情報ベース

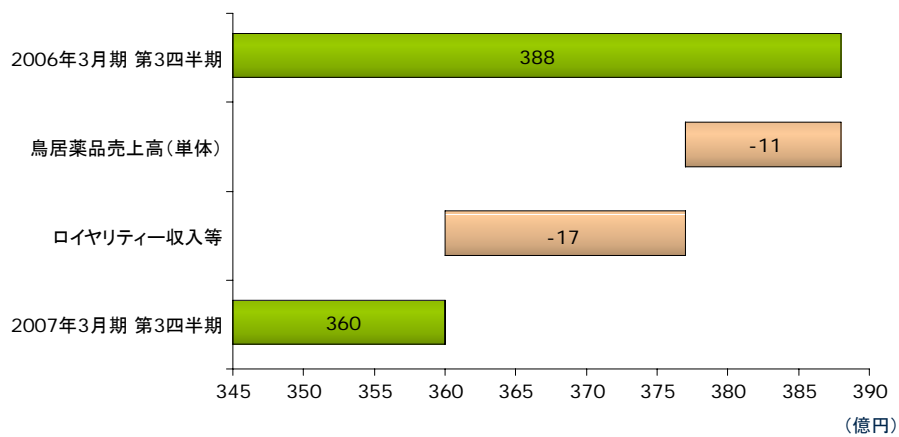
海外たばこ事業EBITDA 761億円 → 937億円 (175億円増)

22



2007年3月期 第3四半期実績

■ 医薬事業 売上高

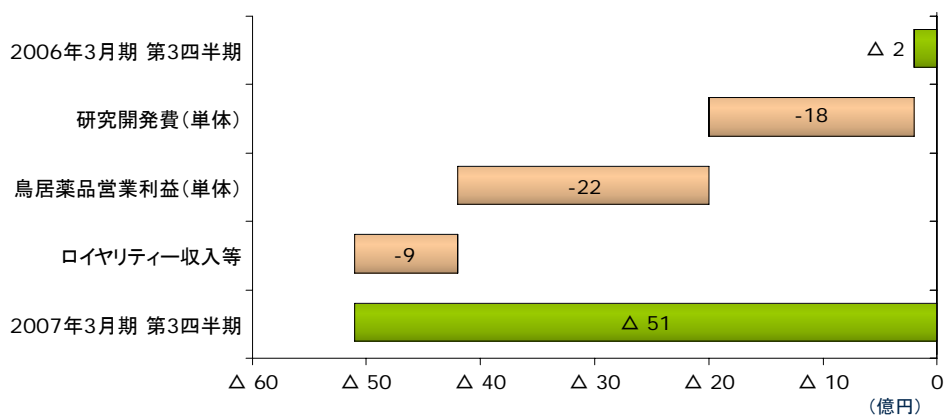


23



2007年3月期 第3四半期実績

■ 医薬事業 EBITDA

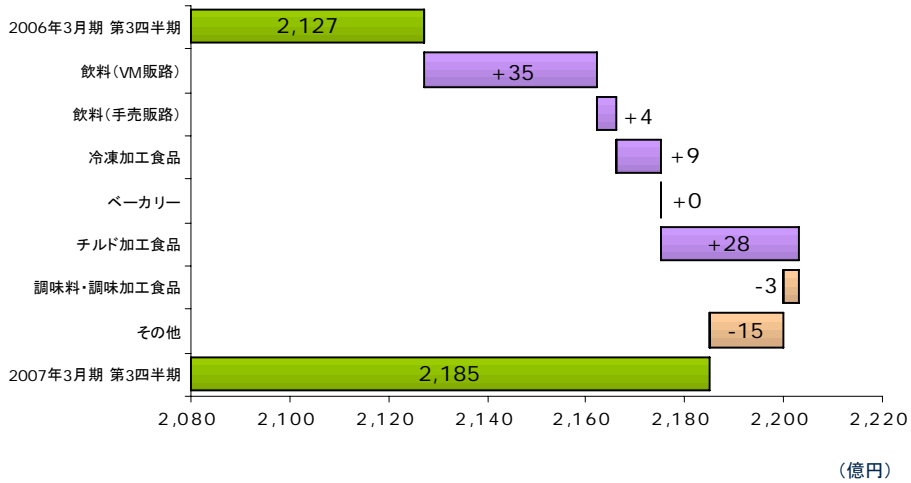


24



2007年3月期 第3四半期実績

■ 食品事業 売上高

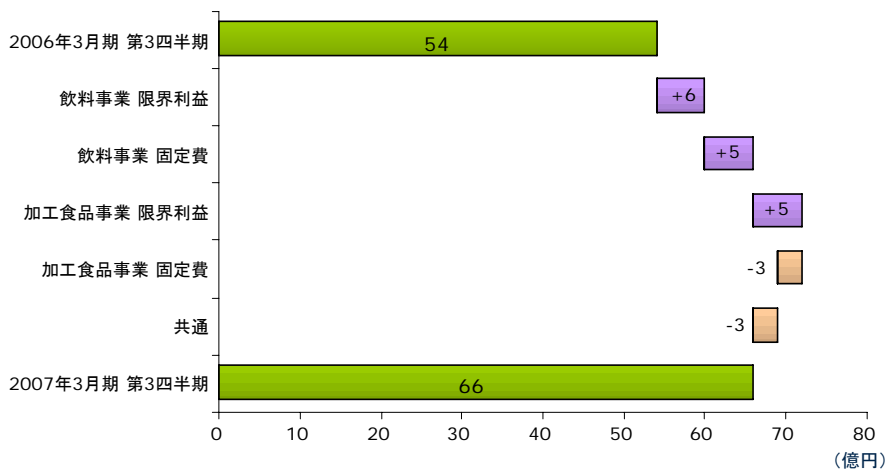


25



2007年3月期 第3四半期実績

■ 食品事業 営業利益

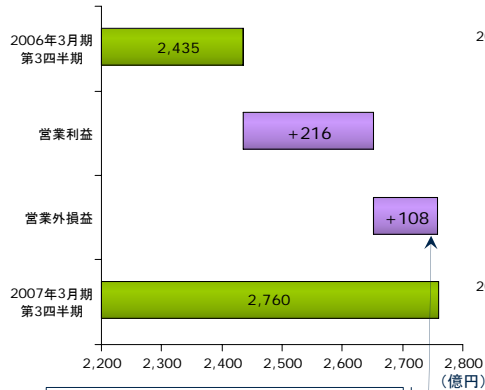


26



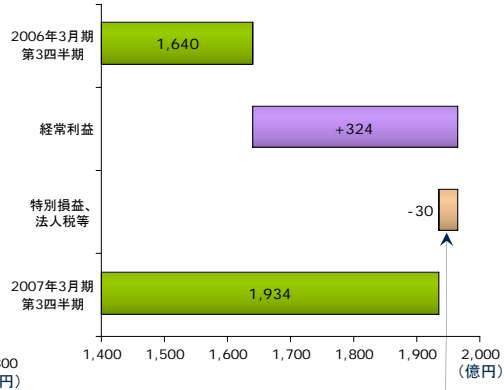
2007年3月期 第3四半期実績

■ 経常利益



改善要因: 為替差損益の改善 +73億円
受取利息の増 +41億円
悪化要因: たばこ災害援助金の増 △26億円

■ 当期純利益

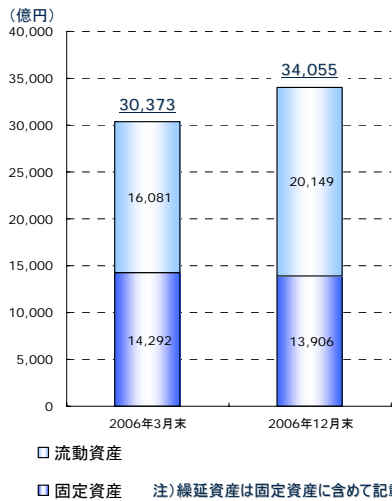


改善要因: 固定資産売却損の減 +213億円
事業構造強化費用の減 +61億円 等
悪化要因: 法人税等の増 △203億円
固定資産売却益の減 △24億円
成人識別自販機導入費用 △16億円 等

(このスライドは空白です)

2007年3月期 第3四半期連結貸借対照表のポイント

■ 資産の部



2006年3月末との比較 ()内は主な要因

■ 流動資産は4,067億円増加

- ◆ 手元流動性*の増加(事業活動) +2,953億円
*手元流動性=現金+有価証券+現金
- ◆ 営業債権*の増加(事業活動) +440億円
*営業債権=受取手形及び売掛金

■ 固定資産は386億円減少

- ◆ 設備投資による増加 +710億円
- ◆ 減価償却*による減少 △976億円
*減価償却費=有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却費

2007年3月期 第3四半期連結貸借対照表のポイント

■ 負債・純資産の部



2006年3月末との比較 ()内は主な要因

■ 負債合計は1,933億円増加

- ◆ 有利子負債*の増加(短期借入金の増)+46億円
*有利子負債=短期借入金+社債+長期借入金
- ◆ 未払たばこ税等*の増加(期末日休日)+1,916億円
*未払たばこ税等=未払たばこ税+未払たばこ特別税+未払地方たばこ税

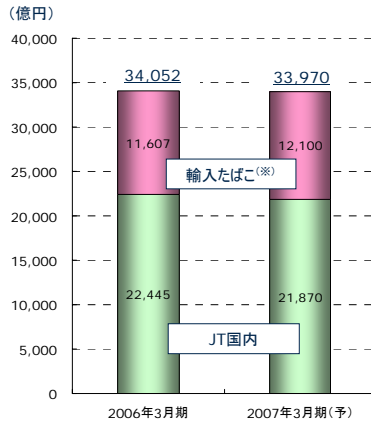
■ 純資産合計は1,747億円増加

- ◆ 利益剰余金の増加 +1,588億円
- ◆ 少数株主持分の増加 +62億円

➢ 自己資本比率 58.0% → 56.7%

2007年3月期 業績予想_対前年度実績

国内たばこ事業 税込売上高



【主な増加要因】

- ・輸入たばこの増 11,607億円→12,100億円(+492億円)
- ・増税に伴う定価改定によるJT製品の税込単価増

【主な減少要因】

- ・マールポロ販売数量の減(△33億本)
- ・JT販売数量の減(△121億本)
(1,894億本 → 1,740億本 △154億本)

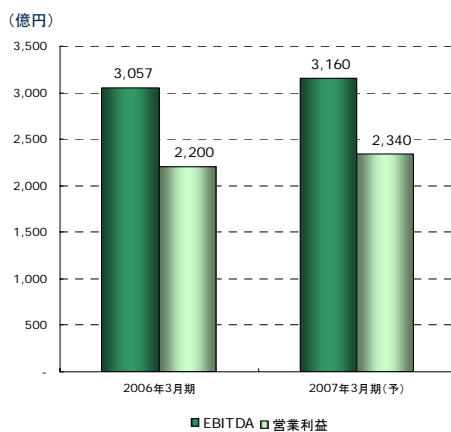
※連結決算上、国内たばこ事業売上高には、子会社であるTSネットワーク(株)が取り扱う輸入たばこ製品の売上高を含んでいる。

31



2007年3月期 業績予想_対前年度実績

国内たばこ事業 EBITDA / 営業利益



【主な増加要因】

- ・単価アップ +約245億円
- ・葉たばこ評価洗替差損益の改善 +189億円
- ・コスト減 +約45億円
- ・その他 +約50億円

【主な減少要因】

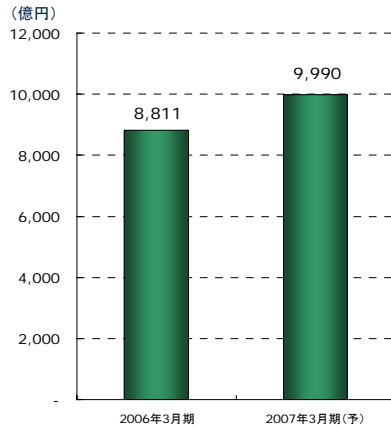
- ・マールポロ販売数量の減(△33億本) △約67億円
- ・JT販売数量(マールポロ除)の減(△121億本) △約360億円

32



2007年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 海外たばこ事業 税込売上高



【主な増加要因】
成熟・新興双方市場でのバランスの取れた成長

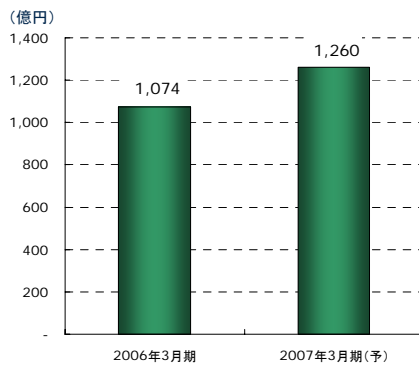
(参考) 連結円ドルレート 110.26円 → 116.38円 (6.12円安)

33



2007年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 海外たばこ事業 EBITDA (JTへのロイヤリティー支払前)



【主な増加要因】
・GFBへの注力とブランド・ポートフォリオの拡充による、中核市場でのトップライン成長

(参考)セグメント情報ベース

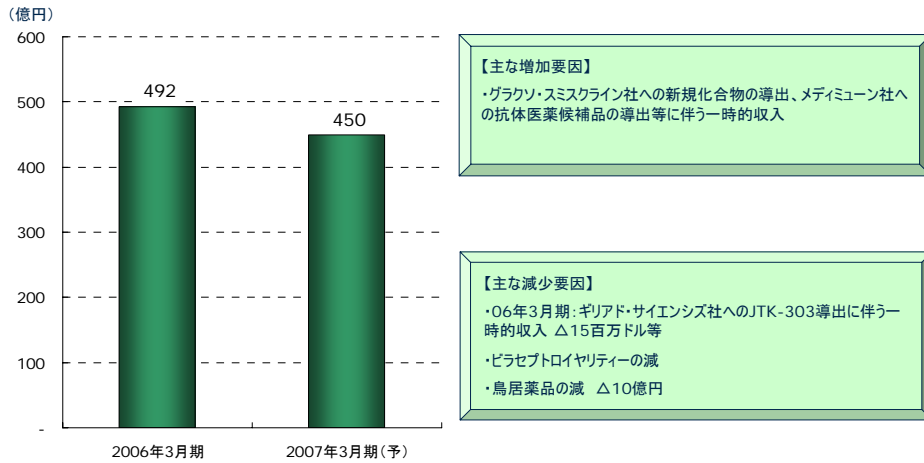
海外たばこ事業EBITDA	940億円 → 1,120億円 (179億円増)
海外たばこ事業営業利益	710億円 → 810億円 (99億円増)
連結円ドルレート	110.26円 → 116.38円 (6.12円安)

34



2007年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 医薬事業 売上高

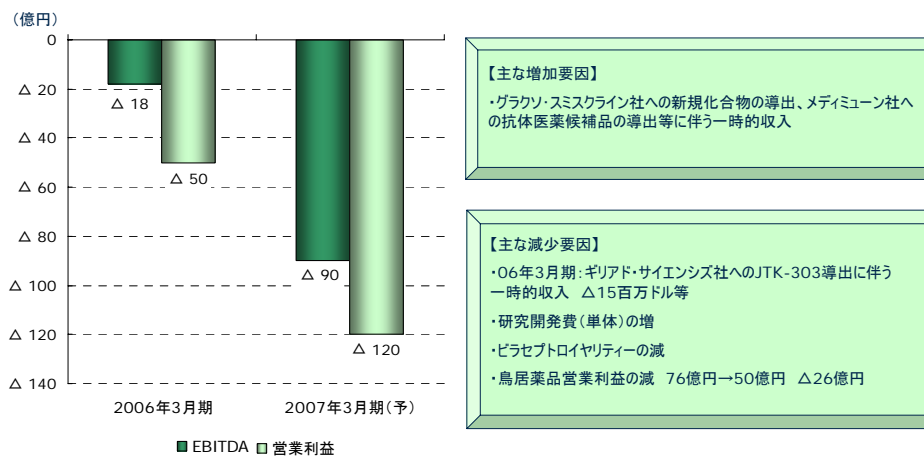


35



2007年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 医薬事業 EBITDA / 営業利益

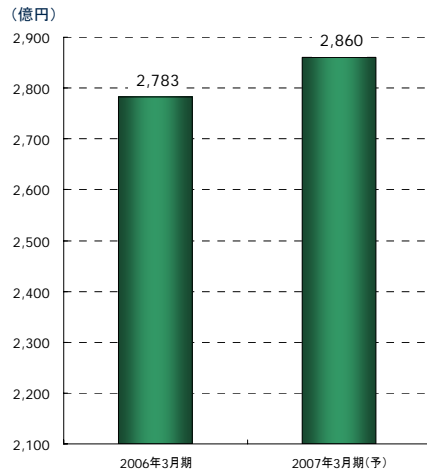


36



2007年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 食品事業 売上高



【主な増加要因】

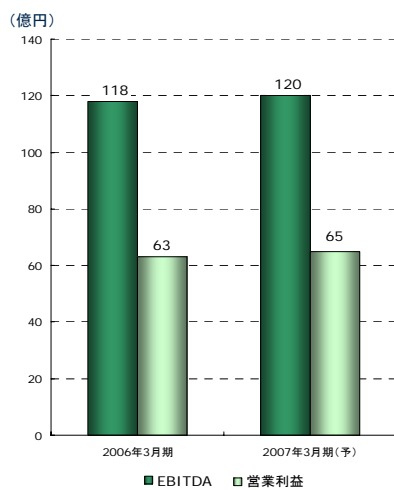
- ・飲料事業における自動販売機販路の着実な伸長
- ・冷凍加工食品における差別性ある商品の開発・投入
- ・チルド加工食品の伸長

37



2007年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 食品事業 EBITDA / 営業利益



【主な増加要因】

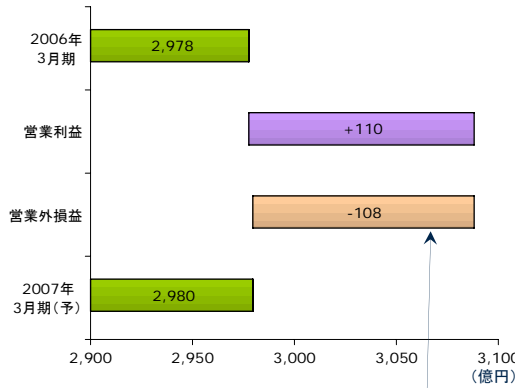
- ・売上げの増加に伴う限界利益増

38



2007年3月期 業績予想_対前年度実績

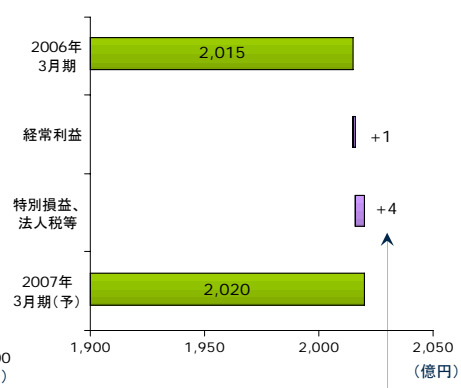
経常利益



改善要因: 為替差損益の改善
受取利息の増

悪化要因: 買収に備えた資金調達に関連する費用
たばこ災害援助金の増

当期純利益



改善要因: 固定資産除売却損失の減
減損損失の減
事業構造強化費用の減 等

悪化要因: 成人識別自販機導入費用 △約70億円
固定資産売却益の減
法人税等の増 等

2007年3月期 第3四半期決算データ集(1)

1. 売上高の内訳

(単位: 億円)

	05年4-12月期	06年4-12月期	増減
全社税込売上高	35,503	36,374	871
国内たばこ事業	26,319	26,249	△ 70
除く輸入たばこ	17,443	16,915	△ 527
海外たばこ事業 ^(注)	6,494	7,424	930
全社税抜売上高(除く輸入たばこ)	12,161	12,411	250
国内たばこ事業	5,913	5,625	△ 288
海外たばこ事業 ^(注)	3,558	4,085	526
医薬事業	388	360	△ 28
食品事業	2,127	2,185	57
飲料事業	1,424	1,462	38
加工食品事業	702	722	19
その他事業	173	155	△ 18

(注): 海外たばこ事業は、1-9月期の実績

2. 葉たばこ評価洗替差損益^(注)

(単位: 億円)

	05年4-12月期	06年4-12月期	増減
葉たばこ評価洗替差損益	42	△ 70	△ 112

(注): マイナス表示の場合は評価益

3. 販売費及び一般管理費の内訳

(単位: 億円)

	05年4-12月期	06年4-12月期	増減
販売費及び一般管理費	4,451	4,334	△ 117
人件費 ^(注)	1,136	1,145	8
広告宣伝費	172	167	△ 4
販売促進費	1,068	937	△ 131
研究開発費	282	311	29
減価償却費	400	428	27
その他	1,391	1,344	△ 47

(注): 人件費=報酬・給料手当+退職給付費用+法定福利費+従業員賞与+賞与引当金繰入額

4. 事業セグメント別EBITDA^(注1)

(単位: 億円)

	05年4-12月期	06年4-12月期	増減
全社EBITDA	3,457	3,711	253
営業利益	2,518	2,734	216
減価償却費 ^(注2)	938	976	37
国内たばこ事業EBITDA	2,414	2,565	150
営業利益	1,767	1,967	200
減価償却費 ^(注2)	647	598	△ 49
海外たばこ事業EBITDA ^(注3)	761	937	175
営業利益	596	709	112
減価償却費 ^(注2)	165	228	62
医薬事業EBITDA	△ 2	△ 51	△ 49
営業利益	△ 26	△ 73	△ 47
減価償却費 ^(注2)	24	22	△ 2
食品事業EBITDA	96	107	10
営業利益	54	66	11
減価償却費 ^(注2)	41	40	△ 1
その他事業EBITDA	161	159	△ 2
営業利益	59	67	8
減価償却費 ^(注2)	101	91	△ 10

(参考) (単位: 百万ドル)

海外たばこ事業EBITDA (ロイヤリティ支払前)	806	902	97
------------------------------	-----	-----	----

(注1): EBITDA=営業利益+減価償却費^(注2)

(注2): 減価償却費=有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却費

(注3): 海外たばこ事業は、1-9月期の実績

5. 主要投資案件の諸償却費

(単位: 億円)

	05年4-12月期	06年4-12月期	償却年数	終了
JTインターナショナル	258	258	-	-
商標権(JT保有分)	220	219	10年	09年4月
特許権(JT保有分)	30	30	8年	07年4月
のれん ^(注)	8	8	20年	25年3月
ジャパンビハレツ				
のれん	2	3	5年	07年3月

(注): USGAAPにおける減損会計の導入により、2002年3月期をもって、JTインターナショナルにおける定期・定額
のれん償却は終了。以降は毎年、減損テストを行った上で、減損金額を決定している。
なお、2005年度より、国内たばこ事業セグメントに割り当てた当該のれんの一部について、20年で償却を開始した。

6. 資本的支出

(単位: 億円)

	05年4-12月期	06年4-12月期	増減
資本的支出	712	710	△ 1
国内たばこ事業	645	393	△ 251
海外たばこ事業 ^(注)	149	209	60
医薬事業	13	22	9
食品事業	31	31	0
その他事業	117	61	△ 56

(注): 海外たばこ事業は、1-9月期の実績

7. 手元流動性^(注)

(単位: 億円)

	06年3月末	06年12月末	増減
手元流動性	9,796	12,750	2,953

(注): 手元流動性=現預金+有価証券+現金

8. 有利子負債^(注)

(単位: 億円)

	06年3月末	06年12月末	増減
有利子負債	2,166	2,212	46

(注): 有利子負債=短期借入金+社債+長期借入金

9. 主な事業関連計数

【国内たばこ事業】	05年4-12月期	06年4-12月期	増減
JT販売数量 ^(注)	1,472	1,355	△ 116
国内総需要	2,204	2,089	△ 115
JT販売数量シェア	66.8%	64.9%	△ 1.9%pt
JT千本当税込売上高	11,675	12,276	601
JT千本当税抜売上高	3,866	3,971	105

(注): JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。当該数量は、2006年4-12月期25億本、2005年4-12月期24億本。

【海外たばこ事業】	05年1-9月期	06年1-9月期	増減
販売数量	1,635	1,782	147
GFB販売数量	992	1,103	111
連結円ドルレート	107.90	115.90	8.00

【医薬事業】	05年4-12月期	06年4-12月期	増減
ピラセトロイリシティ収入	38	32	△ 5
研究開発費(単体)	146	164	18

【食品事業-飲料事業】	06年3月末	06年12月末	増減
自動販売機台数 ^(注)	237,000	247,500	10,500
うちマーキング機	40,500	38,500	△ 2,000
うちコンビ機	61,500	65,500	4,000

(注): 自動販売機台数には、関係会社が運営する他社機(缶・フック等)及びカップ機を含む。
「マーキング機」とは当社所有の自動販売機を指し、「コンビ機」とは関係会社所有で他社の製品も取り扱いながら、JT製品の露出を積極的に行う自動販売機を指す。

2007年3月期 第3四半期決算データ集(2)

1. 2007年3月期連結業績予想(中間時見込比較)

(単位:億円)

	中間時見込	今回見込	増減
税込売上高	47,700	47,400	△ 300
除く輸入たばこ	35,510	35,300	△ 210
EBITDA	4,440	4,520	80
営業利益	3,080	3,180	100
経常利益	3,100	2,980	△ 120
当期純利益	2,060	2,020	△ 40
ROE(株主資本利益率)	11.2%	10.9%	-0.3%pt
フリーキャッシュフロー ^(注)	3,540	3,640	100

(注):フリーキャッシュフロー=(営業活動CF+投資活動CF)但し、以下の項目を除外する。

営業活動CFから

受取配当金/受取利息とその税影響額(42%)

支払利息とその税影響額(42%)

投資活動CFから

有価証券取得による支出/有価証券売却による収入

投資有価証券取得による支出/投資有価証券売却による収入/その他

上記の計算方式に従って計算したフリーキャッシュフローと表中のフリーキャッシュフローとの開差は投資有価証券の取得及び売却に含まれる事業投資株式によるもの。

(単位:億円)

	中間時見込	今回見込	増減
資本的支出	1,240	1,120	△ 120
国内たばこ事業	710	620	△ 90
海外たばこ事業	320	320	0
医薬事業	30	30	0
食品事業	50	50	0
その他事業	130	100	△ 30

事業セグメント別業績予想

(単位:億円)

	中間時見込	今回見込	増減
税込売上高	47,700	47,400	△ 300
国内たばこ事業	34,300	33,970	△ 330
除く輸入たばこ	22,110	21,870	△ 240
海外たばこ事業	9,900	9,990	90
医薬事業	445	450	5
食品事業	2,860	2,860	0
EBITDA	4,440	4,520	80
国内たばこ事業	3,130	3,160	30
海外たばこ事業	1,090	1,120	30
医薬事業	△ 95	△ 90	5
食品事業	120	120	0
営業利益	3,080	3,180	100
国内たばこ事業	2,290	2,340	50
海外たばこ事業	780	810	30
医薬事業	△ 125	△ 120	5
食品事業	70	65	△ 5

2. 2007年3月期連結業績予想(前期実績比較)

(単位:億円)

	前期実績	今回見込	増減
税込売上高	46,376	47,400	1,023
除く輸入たばこ	34,769	35,300	530
EBITDA	4,333	4,520	186
営業利益	3,069	3,180	110
経常利益	2,978	2,980	1
当期純利益	2,015	2,020	4
ROE(株主資本利益率)	12.4%	10.9%	-1.5%pt
フリーキャッシュフロー ^(注)	1,455	3,640	2,184

(注):フリーキャッシュフロー=(営業活動CF+投資活動CF)但し、以下の項目を除外する。

営業活動CFから

受取配当金/受取利息とその税影響額(42%)

支払利息とその税影響額(42%)

投資活動CFから

有価証券取得による支出/有価証券売却による収入

投資有価証券取得による支出/投資有価証券売却による収入/その他

上記の計算方式に従って計算したフリーキャッシュフローと表中のフリーキャッシュフローとの開差は投資有価証券の取得及び売却に含まれる事業投資株式によるもの。

(単位:億円)

	前期実績	今回見込	増減
資本的支出	989	1,120	130
国内たばこ事業	750	620	△ 130
海外たばこ事業	249	320	70
医薬事業	21	30	8
食品事業	45	50	4
その他事業	193	100	△ 93

事業セグメント別業績予想

(単位:億円)

	前期実績	今回見込	増減
税込売上高	46,376	47,400	1,023
国内たばこ事業	34,052	33,970	△ 82
除く輸入たばこ	22,445	21,870	△ 575
海外たばこ事業	8,811	9,990	1,178
医薬事業	492	450	△ 42
食品事業	2,783	2,860	76
EBITDA	4,333	4,520	186
国内たばこ事業	3,057	3,160	102
海外たばこ事業	940	1,120	179
医薬事業	△ 18	△ 90	△ 71
食品事業	118	120	1
営業利益	3,069	3,180	110
国内たばこ事業	2,200	2,340	139
海外たばこ事業	710	810	99
医薬事業	△ 50	△ 120	△ 69
食品事業	63	65	1

業績予想の主な前提条件

業績予想の主な前提条件

(1) 国内たばこ事業 (単位:億本)

	中間時見込	今回見込	増減
販売数量	1,760	1,740	△ 20

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2) 海外たばこ事業 (単位:億本、円)

	中間時見込	今回見込	増減
販売数量	2,390	2,401	11
GFB販売数量	1,470	1,491	21
1USDル	116.00	116.38	0.38

(1) 国内たばこ事業 (単位:億本)

	前期実績	今回見込	増減
販売数量	1,894	1,740	△ 154

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2) 海外たばこ事業 (単位:億本、円)

	前期実績	今回見込	増減
販売数量	2,203	2,401	198
GFB販売数量	1,338	1,491	153
1USDル	110.26	116.38	6.12

国内JT製品データ集

(注1): 表中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。

(注2): 従来ベース: JTオリジナルブランド + 2005年4月末までのマールポロ + 2005年5月以降のJT1の国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)

新ベース: JTオリジナルブランド + JT1の国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)

国内たばこ事業関連係数

1. 四半期別販売数量

(単位: 億本)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	542	556	556	477	2,132
2005年度	505	485	481	422	1,894
2006年度	540	368	446		

(注): 上記の数値には、2005年4月末までのマールポロ販売数量及び2005年5月以降のJT1の国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)の販売数量を含みます。

2. 四半期別定価代金

(単位: 億円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	7,480	7,670	7,675	6,589	29,416
2005年度	6,947	6,642	6,582	5,780	25,952
2006年度	7,403	5,475	6,646		

(注1): 販売定価代金 = 販売数量 × 小売定価

(注2): 上記の数値には、2005年4月末までのマールポロ販売数量及び2005年5月以降のJT1の国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)の販売数量を含みます。

3. 四半期別千本当売上高

(単位: 円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	11,754	11,755	11,752	11,765	11,756
2005年度	11,715	11,653	11,657	11,667	11,674
2006年度	11,663	12,677	12,688		

(注1): 本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。

千本当売上高 = (販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税) / 販売数量 × 1,000

(注2): 上記の数値には、2005年4月末までのマールポロ販売数量及び2005年5月以降のJT1の国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)の販売数量を含みます。

4. 四半期別千本当税抜売上高

(単位: 円)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	3,940	3,942	3,937	3,946	3,941
2005年度	3,901	3,845	3,849	3,857	3,864
2006年度	3,852	4,050	4,050		
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	3,844	3,844	3,840	3,845	3,843
2005年度	3,845	3,846	3,849	3,857	3,849
2006年度	3,852	4,050	4,050		

(注): 本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。

千本当税抜売上高 = { 販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税(国税) - たばこ税(地方税) - たばこ特別税(国税) } / 販売数量 × 1,000

5. 四半期別シエア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	73.0	73.0	72.7	72.7	72.9
2005年度	69.6	65.4	65.3	65.2	66.4
2006年度	65.5	64.2	64.7		
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	66.7	66.6	66.4	66.1	66.5
2005年度	66.1	65.5	65.3	65.2	65.5
2006年度	65.5	64.2	64.7		

伸張セグメントシエア

1. 四半期別ターール1mgセグメントシエア

①JT タール1mg製品市場シエア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	8.3	8.2	8.6	8.9	8.5
2005年度	10.6	11.7	12.2	12.5	11.7
2006年度	12.4	12.5	13.3		
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	10.4	10.3	10.7	11.1	10.6
2005年度	11.3	11.7	12.2	12.5	11.9
2006年度	12.4	12.5	13.3		

②セグメント内シエア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	47.5	46.9	47.3	47.5	47.5
2005年度	55.7	60.4	60.8	61.6	61.6
2006年度	61.3	60.9	62.4		
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	59.6	58.6	59.0	59.4	59.4
2005年度	59.7	60.4	60.8	61.6	61.6
2006年度	61.3	60.9	62.4		

2. 四半期別メンソールセグメントシエア

①JT メンソール製品市場シエア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	8.6	8.6	9.0	9.3	8.9
2005年度	8.1	6.5	6.6	6.7	7.0
2006年度	6.7	6.9	6.7		
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	5.6	5.5	5.8	6.1	5.7
2005年度	6.3	6.5	6.6	6.7	6.5
2006年度	6.7	6.9	6.7		

②セグメント内シエア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	51.7	51.1	52.0	52.5	52.5
2005年度	45.1	34.4	34.9	35.1	35.1
2006年度	35.0	34.1	33.8		
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	33.2	32.4	33.8	34.4	34.4
2005年度	34.7	34.4	34.9	35.1	35.1
2006年度	35.0	34.1	33.8		

3. 四半期別320円以上製品セグメントシエア

①JT 320円以上製品市場シエア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	11.7	11.8	11.5	12.1	11.8
2005年度	8.8	5.1	5.4	5.9	6.3
2006年度	5.7	5.4	5.2		
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	5.0	5.1	4.8	5.1	5.0
2005年度	5.1	5.2	5.4	5.9	5.4
2006年度	5.7	5.4	5.2		

②セグメント内シエア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	53.9	53.8	52.8	53.6	53.6
2005年度	39.1	22.2	23.1	24.5	24.5
2006年度	24.3	22.5	22.6		
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	23.2	23.0	22.2	22.8	22.8
2005年度	22.6	22.3	23.2	24.5	24.5
2006年度	24.3	22.5	22.6		

* 2006年4-6月期以前は300円以上製品セグメント

4. 四半期別D-spec製品シエア

(単位: %)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	0.91	0.95	0.90	0.94	0.93
2005年度	0.91	1.24	1.78	3.12	1.72
2006年度	4.12	3.84	3.85		

* ビアニツシモ及びプレミアは2006年3月より、バヴェル・フレアは2006年12月より、

D-spec製品として販売しております。

医薬事業 臨床開発品目（2007年2月8日現在）

開発名	開発段階	適応症	作用機序	詳細	権利
JTT-705 (経口)	国内：Phase1	脂質代謝異常	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTT-130 (経口)	国内：Phase2 海外：Phase2	高脂血症	MTP（ミクロソームトリグリセリド転送蛋白）阻害	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる高脂血症治療薬	
JTK-303 (経口)	国内：Phase1	HIV	インテグラーゼ阻害	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害するインテグラーゼ阻害剤	米国ギリアド・サイエンズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTT-302 (経口)	海外：Phase1	脂質代謝異常	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	
JTT-305 (経口)	国内：Phase2 海外：Phase1	骨粗鬆症	CaSR（カルシウム感知受容体）拮抗	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する骨粗鬆症治療薬	
JTT-551 (経口)	国内：Phase1 海外：Phase1	2型糖尿病	PTP1B（チロシン脱リン酸化酵素1B）阻害	インスリンシグナル伝達を負に制御するPTP1Bを阻害することにより、インスリンの作用を増強し、血糖を低下させる糖尿病治療薬	
JTT-552 (経口)	国内：Phase1	高尿酸血症	URAT1（尿酸トランスポーター1）阻害	腎臓における尿酸の再吸収に関するURAT1の働きを阻害することにより、尿中への尿酸排泄を促進させ、血中尿酸値を低下させる高尿酸血症治療薬	

前回（2006年10月31日）公表時からの変更点：JTT-705 の韓国での開発・商業化権をスイスのロシュ社へ導出

JTT-305 国内臨床試験 Phase1からPhase2へ移行